**【末梢血幹細胞採取、リンパ球採取を行った方々ヘ】**

**保存期間が5年を超えた細胞の廃棄について**

造血器疾患に対する治療として造血幹細胞移植があります。移植する造血幹細胞の一つの種類として末梢血幹細胞があり、この細胞は一定期間凍結保存しておくことができます。当院では、将来の治療に備えて未使用の造血幹細胞等の保存を続けてきましたが、患者さまの病状の変化やその他の理由で今後の使用が見込まれないにも関わらず保存されている細胞がございます。また、長期間保存された凍結細胞は劣化して増殖能が低下している可能性が高く、これらの細胞を今後実際に移植に使用するのはきわめて困難と考えられます。

現在、末梢血幹細胞は専用の超低温容器の中で凍結して保存していますが、様々な理由により使用が予定されていないまま保管されている末梢血幹細胞数が増加しており、保管場所が不足してきています。そのために、現在治療中の患者さんに必要な末梢血幹細胞の保管場所がなくなってきているのが当院の現状です。
つきましては、2024年4月現在すでに保存期間が5年以上経過している検体、及び今後の使用見込みがないと主治医が判断した検体は、主治医による確認のうえで、適切な方法で廃棄処分させていただくことと致しました。

加えて、今後は、保存期間が5年に到達した検体は、順次、同様に破棄処分させていただくことに致します。

また、近年登場したキメラ抗原受容体T細胞療法（CAR-T細胞療法）の際に採取された患者さまのリンパ球についても、同様の対応をさせていただく予定です。

凍結細胞の廃棄に該当する各患者さま、御家族の方、ドナーさまには、本お知らせでもって個別なお知らせに代えさせて頂きたいと思いますので何卒よろしくお願い申し上げます。

■対象となる方

下記のいずれかに該当する方が対象となります。

* 当院で自家末梢血幹細胞採取を受けられた患者さま
* 当院でキメラ抗原受容体T細胞療法（CAR-T細胞療法）を目的としたリンパ球採取を受けられた患者さま
* 当院で同種末梢血幹細胞採取やドナーリンパ球採取を受けられたドナーさま

【お問い合わせ先】

本お知らせに関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

大阪国際がんセンター 血液内科 　横田　貴史

〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

電話番号 06-6945-1181（代表）